

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jgccc@ccnet.or.jp
No. 1956

田中 ひさ子
〒10-36
823-1714
寺本 とも子
〒38-1-105
829-9424

中林 かずえ
〒4-3-3
839-2289
中谷 光夫
〒155-8
823-5947

松尾 信次
〒12-6
821-7427

市民アンケート

再開発や高い国保料に
大きな批判の声が

行財政改革市民懇談会(会長、澤井勝氏)から、第2期(平成16年～18年)行財政改革実施計画の進捗と、第3期(平成19年～21年)実施計画の策定についての意見書が馬場市長に提出されました。

また、この間、市は「行革」の名で福祉や教育分野の大幅な削減をおこなう一方で、駅

第二期の反省にたつて
市民の声をきくべき

第2期実施計画は、策定前のパブリックコメントで700件を超える市民からの反対や疑問の意見が出されたにも関わらず、その意見が反映されませんでした。

党議員団が取り組んでいる市民アンケートの回答では、国民健康保険料が高い問題や再開発事業に莫大な税金を使うことに多くの市民から反対の声が寄せられています。意見書では、第2期

二度と戦争をしないため
9条を守りましょう
61回終戦記念日に訴え

61回目の終戦記念一日を迎えた8月15日



訴える太田くみ子
(府政対策委員長)

み子、党議員団と太田くみ子府政対策委員長、太田とおるくらし福祉対策委員長は、「日本が二度と戦争をしないために、憲法9条を守りましょう。臨時国会で、9条を改悪するための国民投票法案を廃案にしましょう」と各地域で訴えました。

前の再開発事業には市税約113億円を投入することなどを決めてきました。

実施計画の市民サービ

ス切り捨てなどを成果として全面的に評価し、市民アンケートの出されているような市民の声は、反映されていません。

市は、今年度中に実施計画(素案)を策定し、パブリックコメントをおこなう予定ですが、

第3期実施計画の策定にあたっては、第2期の反省にたつて、市民の声をしっかりと聞くべきです。



対します。

おこした戦争を反省し、二度と戦争しないと明記しています。9条がしっかりと歯止めとなつています。二度と悲しい戦争体験者を出さないように、平和憲法改悪にきつぱり反対します。

視界

寝屋川市発行
の市民の戦争
体験記を読み
ました。印象

に残ったのは、甚原1丁目のNさん(平成13年死亡、当時84歳、点野小学校の先生が話を録音)の話です▼主人はビルマで戦死(義弟は捕獲されていいますが、2人の子どもを戦地に送った義父母はどんな思いだっただろう)「我が子を戦地に送る親の気持ちを考えてどう言っているかわかりません」「二度と戦争を起こしてほしくない」「世界で戦争がくり返され、子どもが被害を受けているのを見ると、いやだ」と繰り返して語っています▼多くの戦争体験が具体的に語られていますが、夫や子どもを戦地に送り、残された親や子どもを抱えた女性のくやしさに共感します。しかし、今は、

府道の実態調査おこなう

太田くみ子さんと党議員団

横断歩道での穴や
中央白線が消えている実態が

五日、中林議員と太田くみ子府政対策委員長、太田とおるくらし福祉対策委員長は、市民から要望のあった府道の安全実態調査をお



こないました。枚方交野寝屋川線の南病院前の横断歩道は、自転車やバイクの走行に危険な穴が空いていました。また、道路中央線(白線)が消えていました。旧1号線では、石畳式歩道が、ほとんどの箇所です。でこぼこになっていること、石畳のすき間から雑草が繁つているところもあり、車イスの走行が困難な箇所が何力所もありました。木屋門真線の池田3丁目からの出口付近では、もともと歩道がないというえ、道路端の車道との白線が消えており、自転車や歩行者が危険な状況でした。太田くみ子府政対策委員長と党議員団は、引き続き、市民から危険だご意見をいただいた箇所の実態調査をおこない、大阪府へ改善を要望していきます。

原爆禁止世界大会に
中谷光夫議員が参加

原水爆禁止2006世界大会・広島に、中谷光夫議員が参加しました。中谷議員は、大会の特徴を次の四点にまとめています。

①「核兵器のない平和で公正な世界を」をテーマに、16カ国約70人の海外代表、85

00人の参加のうち半数が青年でした。

②4日の開会総会中、広島地裁で原爆訴訟原告全員勝訴の報が入り、会場総立ちで拍手の感動の場となりました。

③初めての人を含めて96人の被爆者が、若い世代に核廃絶の願いを託したいと体験を語って下さいました。

④今年から「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名が世界中で取り組まれていきます。

昨年核不拡散条約再検討会議の失敗の反省に加え、「原子兵器の除去」を決定した国連第一号決議にたちもど

つて、国連の役割発揮を求める国際的な運動が広がっていることを実感しました。九条と核廃絶の課題を結んで取り組んできた寝屋川の活動に確信を持つことができた世界大会でした。



広島からのよびかけを採択して閉幕した原水爆禁止2006年世界大会

議員日誌



中林かずえ

党府政対策委員長の太田くみ子さんと、市内の自治会長さんや介護施設を訪問しました。

太田さんは、出会った人、ひとり一人にはつきりと自分の考えを伝えています。また、考え方が違っても相手の生き方を理解しよう、共通

点共鳴しようとする姿勢は、一緒にいてとてもすがすがしく感じます。太田さんなら、はじめにこつこつ生活する市民の願いを受け止めて府政に反映してくれると思います。

私も、一緒にがんばりたいと思います。